

2023年2月22日（水）
広島市立大学サテライトキャンパス
セミナールーム・1
（広島市中区大手町4-1-1 大手町平和ビル9階）
※下記地図参照

講演：ヤシーン・ハージュ・
サーレハ（作家）

通訳：岡崎弘樹
（亜細亜大学国際関係学部教員）

司会：田浪亜央江
（広島市立大学国際学部教員）

18:00 開場
18:30 趣旨説明、
ドキュメンタリー
『記憶への旅』 上映
19:30 講演
「語られるジェノサイド、
語られないジェノサイド」
20:30 Q & Aセッション
21:15 終了

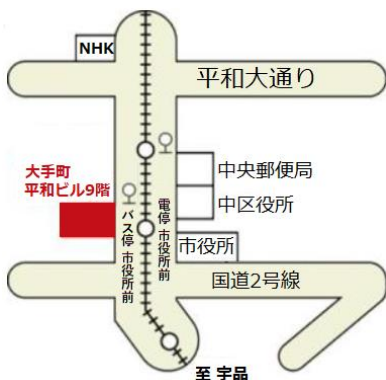


ドキュメンタリー『記憶への旅』
ハーラ・ムハンマド監督、2006年、
シリア、47分、
アラビア語（日本語字幕）

シリアの作家3人がパルミラに向かう
車内で「絶対的な監獄」と呼ばれた同
地刑務所での収監経験を振り返りなが
ら、来るべき「祖国」のあり方につ
いて話し合う。

会場アクセスMAP

予約不要
参加費無料



至 宇品

語られるジェノサイド、 語られないジェノサイド

シリア人作家ヤシーン・ハージュ・サーレハ氏講演会

世界各地では、とりわけ二〇世紀から現在に至るまで、大量虐殺（ジェノサイド）が続いてきました。シリアでは一斉検挙による収監や拷問、自国民への爆撃によって数十万人レベルで犠牲者が生まれているにもかかわらず、国際世論の関心は薄まりつつあります。祖国を離れ、現在ベルリンに在住するシリア人作家ヤシーン・ハージュ・サーレハ氏は、かつてのアウシュビッツの経験だけでなく、ミャンマーやウクライナといった現在続く殺戮の問題ともからめて、人類的課題として何が語られるべきかについて講演します。



ヤシーン・ハージュ・サーレハ（1961-）
シリア・ラッカ生まれ。アレッポ大学医学部在学中、反体制派民主化組織に所属していたため拘束され、1996年まで収監される。汎アラブ紙や英字紙に論考多数掲載。日本語訳された著書に『シリア獄中獄外』（みすず書房、岡崎弘樹訳、2020）がある。

【主催】若手研究「近現代アラブ思想・文学における「共存」構想とその実践」
【共催】基盤研究A「トランスナショナル時代の人間と「祖国」の関係性をめぐる人文学的、領域横断的研究」
広島・中東ネットワーク
【問い合わせ用メールアドレス】yashinathiro@gmail.com